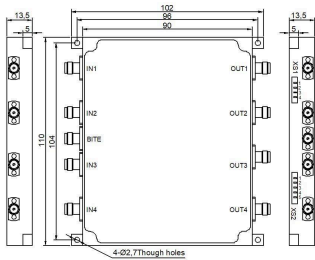


3-6 GHz 4チャネル受信フロントエンド

3種のフィルタ帯域、利得 30 ± 1.5 dB、雑音指数 ≤ 8 dB、チャネル別DSA制御を備える4系統のRF受信モジュール。



電気仕様

項目	値	単位	注記
RF入力周波数	3000-6000	MHz	-
チャネル数	4	-	-
利得	30 ± 1.5	dB	-
雑音指数	≤ 8	dB	最大: 8 dB.
飽和出力電力 (Psat)	10	dBm	代表: 10 dBm.
入力および出力VSWR	≤ 2	-	最大: 2.
電源電圧	+12	VDC	代表: 12 VDC.
電源電流	200	mA	代表: 200 mA.
チャネルごとの減衰範囲	0-31.5	dB	資料ブロック図は各チャネル0-31.5 dBと6個の減衰重みを明記。
減衰ステップ	0.5	dB	-
減衰器ビット数	6	-	-

環境限界

項目	値	単位
動作温度	-40-+80	°C
保存温度	-55-+125	°C

インターフェースと端子

項目	値	単位
RF入力ポート	IN1-IN4: SMA-K (サブバンド記述が相違しますが、ブロック図は同一帯域のRF受信を示します。)	-
RF出力ポート	OUT1-OUT4: SMA-K (サブバンド記述が相違しますが、ブロック図は同一帯域のRF受信を示します。)	-

インターフェースと端子

項目	値	単位
BITE校正入力	BITE: SMA-K	-
電源端子	XS1: 1, 2 → +12 V	-
接地端子	XS1: 3, 4 → GND	-
SPIデータ端子	XS2: 1 → SPI_MOSI	-
SPIクロック端子	XS2: 2 → SPI_SCK	-
SPI選択端子	XS2: 3 → SPI_NSS (LE)	-
SPI接地端子	XS2: 4 → GND	-
SPI NC端子	XS2: 5 → NC	-

制御とフィルタ選択

項目	値	単位	注記
SPIデータ速度	2 / 10	Mbps	代表: 2 Mbps. 最大: 10 Mbps.
SPIフレーム	0xAA 0x55 Data[31:0] 0x44 0xBB	-	Data[31:0]は4バイト。追加のデータバイト順序は未指定。
チャンネル1のRF/BITE選択ビット	26: 0 → RF; 1 → BITE	-	ビット位置とチャンネル番号を保持し、不一致の記号名は省略。
チャンネル2のRF/BITE選択ビット	27: 0 → RF; 1 → BITE	-	ビット位置とチャンネル番号を保持し、不一致の記号名は省略。
チャンネル3のRF/BITE選択ビット	28: 0 → RF; 1 → BITE	-	ビット位置とチャンネル番号を保持し、不一致の記号名は省略。
チャンネル4のRF/BITE選択ビット	29: 0 → RF; 1 → BITE	-	ビット位置とチャンネル番号を保持し、不一致の記号名は省略。
チャンネル1の減衰ビット	5:16; 4:8; 3:4; 2:2; 1:1; 0:0.5	dB	各ビットは1で該当減衰ステップを有効、0で無効にします。
チャンネル2の減衰ビット	11:16; 10:8; 9:4; 8:2; 7:1; 6:0.5	dB	各ビットは1で該当減衰ステップを有効、0で無効にします。
チャンネル3の減衰ビット	17:16; 16:8; 15:4; 14:2; 13:1; 12:0.5	dB	各ビットは1で該当減衰ステップを有効、0で無効にします。
チャンネル4の減衰ビット	23:16; 22:8; 21:4; 20:2; 19:1; 18:0.5	dB	各ビットは1で該当減衰ステップを有効、0で無効にします。
SPI未使用ビット	30-31	-	資料ではこれらのデータビットに意味なしと記載。
SPIフィルタ選択ビット	25:C1; 24:C0	-	-

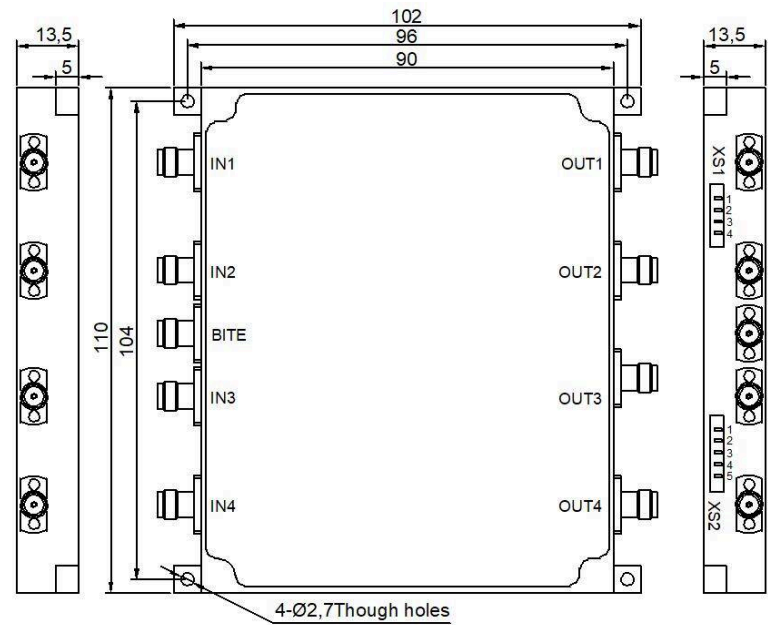
制御とフィルタ選択

項目	値	単位	注記
フィルタコード00の通過帯域	00 → 3000-4200	MHz	-
フィルタコード01の通過帯域	01 → 4000-5200	MHz	-
フィルタコード10の通過帯域	10 → 5000-6000	MHz	-

機械仕様

項目	値	単位
本体寸法	102 × 110 × 13.5	mm
質量	≤500 (最大: 500 g.)	g
取り付け穴中心間距離	96 × 104	mm
取り付け穴	4 × Φ2.7 (貫通穴。)	mm

外形寸法図



寸法の単位はすべて mm [in] です。

現在の発行記録・1.0・2026-10-08. 承認済み製品資料の初版です。

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。